



企業システムの確立

令和6年11月2日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

システムの構築は、共有のコンセンサスと生産性を企業が共有することである。それが優れば企業がその共有性を実現できるのである。

これらはスリム化とシンプル化、IT システムにおける自動化、コンセプトやコンセンサスの共有などにおける個別事業部や企業の運営を実現できるのである。

これらが生産性と効率性の基準を新たにして自己を行うことは可能である。企業が自らのビジョンや目標を変化することは、現実を変えることができるのである。

これらは企業の倫理的な自己が飛躍し無限の可能性を実現することを提案する。倫理的な判断や行動はそれに伴う現実を創造するのである。

これらが時代性における企業の無限の飛躍なのである。新しい可能性という挑戦であり、企業の正しい未来の創造である。

また企業が創造性を選択するならば、それがなされるだろう。これらが経営者に与えられる企業の選択という現実なのである。

優れた理解は必ず優れた現実を創造できるのである。今という時代において、それらは必ず正しい企業の選択である。

なぜならば既存現実の永続は未来において必ず不可能であるからである。

これらが企業における時代への到達という挑戦なのである。

知的生産性への移行と経営への転換という現実社員における新しい要求をそのすべての社員へ要求し、新しい基準と判断における企業の経営を実現できるのである。

これら変化は計り知れない大きさを有するのである。それは時代の飛躍と転換は現実そのものであるからである。